

国際競技大会における感染防止対策

		NHL	NBA	全米オープン	全仏オープン	UEFA チャンピオンズリーグ	ITU世界ミックスリレー トライアスロン選手権	2020 パラカヌーW杯
		アイスホッケー カナダ	バスケットボール アメリカ	テニス アメリカ	テニス フランス	サッカー ポルトガル	トライアスロン ドイツ	カヌー ハンガリー
		2020年8月1日～10月4日	2020年7月30日～10月13日	2020年8月31日～9月13日	2020年9月27日～10月11日	2020年8月12日～23日	2020年9月4日～5日	2020年9月24日～27日
入 国 前		<ul style="list-style-type: none"> 米国を除く各国からの外国人の入国は原則禁止。 例外的に入国する渡航者に対して、14日間の自己隔離を義務付け。 入国時に検査は求められない。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行健康情報レベル3(不要な渡航延期勧告)の国(日本含む)からの入国者には、自宅等で14日間の自己隔離を要請。 過去14日以内に英国、シェンゲン圏、ブラジル、中国等31か国に滞在歴のある外国人は入国拒否。 入国時に検査は求められない。 <p>[大会開催における特別措置]</p> <ul style="list-style-type: none"> 入国拒否対象であっても、大会関係者に係るリストに記載のある者は入国拒否を免除。 	<ul style="list-style-type: none"> EU、シェンゲン協定加盟国、英国、日本等10カ国以外からの入国は原則不可。 上記の者は、入国時の検査、入国後14日間の自己隔離は不要。 <p>[大会開催における特別措置]</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加する選手及びコーチ等に政府から入国許可証が発行され、全ての外国人選手等の入国が認められるが、米国やブラジルなど一部の国に30日以内の滞在歴がある場合は、入国する際にPCR検査の結果が陰性であることを示す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> EU、シェンゲン加盟国、英国、日本等11カ国以外からの入国は必要不可欠な目的(勉学、家族、健康及び人道上的理由等)に制限され、出発時にPCR検査の陰性証明の提示が求められる。 EU、シェンゲン加盟国、英国、日本等11カ国からの入国にあたって、陰性証明の提示は不要。 	<ul style="list-style-type: none"> EU加盟国民、シェンゲン協定加盟国民、英国国民、豪州等7カ国(日本は含まれない)以外からの入国は原則不可だが、プロスポーツ選手や競技会に参加する選手は例外的に入国が認められる。 開催地であるハンブルク州の州令上、リスク国・地域からの入国者は14日間の隔離が求められるが、入国前48時間以内の陰性証明の提示、あるいは入国時に検査で陰性となった場合は隔離免除。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月1日から30日間、外国人の入国は原則不可。 <p>[大会開催における特別措置]</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月19日～25日に発行されたPCR検査の陰性証明書を持参し、20日～26日に入国する。 	
	入 国 後	<p>行動管理</p> <p>輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合会場、練習場、食事会場(ホテル内のレストラン、バーなど)など指定された範囲内に滞在。 各チームは指定のフロアの1人部屋に滞在(他の部屋との往来禁止)。 指定の範囲を出る際は許可が必要。 空港へ移動の際、乗用車の相乗りや公共交通機関(タクシー含む)の使用禁止。 開催都市到着時は、バスを提供。 チャーター機を使用しない場合、到着後、自室で4日間の隔離と検査での4回の陰性結果が求められる。 <p>違反し</p> <ul style="list-style-type: none"> 無許可で指定された範囲から出た場合、個人は10日～14日間の隔離と行動監視。チームはドラフト参加の喪失あるいは罰金となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 選手や関係者全員がフロリダ州のディズニーワールドリゾート内スポーツ複合施設に隔離エリアを設置し滞在。 施設を出る際は承認が必要。 対人間隔確保の警報器装着。 チャーター機が借り上げバスを使用して隔離エリアへ移動。 	<ul style="list-style-type: none"> 陰性結果が出た選手にクレデンシャル(証明書)が発行され、試合会場と滞在先との往来可。 選手や関係者だけが大会指定の輸送手段を利用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健当局の見解に従い、ソーシャルディスタンスの確保、手洗い、シャワー使用時以外のマスク着用等の感染防止対策の徹底が求められる。 大会専用の公式ホテル(2箇所)に滞在しなければならない。(報道ベース) マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保等の感染防止対策の徹底が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿舎内は一般客と異なる動線。 協定遵守係を任命し、移動、宿舎に係る衛生上の対策を遵守。 英語で対応可能な衛生係を任命し、地元当局と密に連携を取りつつ、感染防止対策を実施。 現地への移動は可能な限りチャーター機を利用。事前に機内の消毒を義務付け。 到着後はチャーター機、プライベートバス、宿舎へと直行できるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 選手は大会の14日前から大会期間中まで継続的に健康状態(体温、症状を含む)をモニタリングしなければならない。 空港送迎において、代表团同士が交わる機会を最小限にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日々検温を行い、体温が38度以上の者は、会場への入場は不可。 シャトルバスを利用し、公共交通機関の使用は避ける。 大会のマニュアルに違反した場合、アクレディテーションを剥奪される。
	検査	<ul style="list-style-type: none"> 到着前の7日間で、48時間おきに3回のPCR検査を実施。 到着後は毎日PCR検査。 許可を得た外出は、戻った際に陰性を確認した上で自室に滞在し、最低4日間連続でPCR検査を受ける。 24時間間隔でPCR検査を行い、2度の陰性及び発熱等の症状がなければ復帰可。 	<ul style="list-style-type: none"> 隔離エリアに滞在するすべての者は、到着時に1回目のPCR検査を受け、その24時間後に2回目を受け、2回の陰性が確認されるまで隔離を行う。 滞在先到着時にPCR検査、最初の検査から48時間後に2度目の検査。以後、4日に一度検査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技会場到着前の3日間で2回の陰性証明を求める。 到着後、5日ごとに検査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> (本拠地の)出発前に検査を実施し、原則として出発前に結果が知らされる。 開催地に到着後、再度検査を実施し、原則試合開始の6時間前までに結果が知らされる。 現地保健当局の指示に従う。 	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ到着前に医師の診断書付のPCR検査陰性証明(48時間以内に検査したもの)を提示。 陽性及び、陽性の疑いがある者は隔離となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場に医療チームを設置。 新型コロナウイルスに関係する症状が見受けられた場合、病院で隔離される。 	
	陽性者への対応		<ul style="list-style-type: none"> 2回目の検査を行い、陰性だった者は24時間後に3回目の検査を受ける。 3回目の検査で陰性だった場合は、復帰可。 	<ul style="list-style-type: none"> 大会が開始していた場合は棄権となる。 	<ul style="list-style-type: none"> アクレディテーションが失効する。 			